

工場やオフィスにおける環境負荷として、資源の消費や廃棄物の排出があります。これら環境負荷を削減するため、工場では、廃棄物の発生抑制やリサイクルの推進により、埋立て処理を最小化する廃棄物ゼロエミッション活動を推進しています。また、オフィスでは、コピー用紙の削減を中心に活動しています。

1 廃棄物削減および適正処理の取り組み

■2002年度廃棄物削減実績

工場から排出される産業廃棄物と、オフィスなどから排出される一般廃棄物を合わせた2002年度の廃棄物最終処分量は77トンで2001年度に比較し75%削減しました。また、再資源化率は99.2%に向上しました。

■国内主要生産拠点がゼロエミッション達成

沖電気の廃棄物削減活動は、1993年に初めて廃棄物削減目標を設定して以来、グループ全体で推進してきました。1996年からの第2次廃棄物削減計画では、それまで31%（各地区平均値）であった再資源化率を1999年に90%（各地区平均値）まで改善し、2000年から主要生産拠点を対象にゼロエミッションへの取り組みを始めました。廃棄物削減部

会を中心に活動を行い、紙屑のリサイクルなど各拠点に共通な事例については、ノウハウの共有化を図り、また、産業廃棄物の処理など生産拠点固有のものは、個別活動を進め、計画より2年前倒しで達成しました。

注) ゼロエミッション：沖電気グループでは、一般廃棄物および産業廃棄物の再資源化率が99%以上と定義しています。

ゼロエミッション達成拠点

達成年度	会社名	所在地	事業概要
2002	八王子地域	東京都八王子市	半導体集積回路開発
	高崎地区	群馬県高崎市	情報処理装置開発
	富岡地区	群馬県富岡市	情報端末装置製造
	沼津地区	静岡県沼津市	交通・音響測位システム開発・製造
2001	宮崎沖電気株式会社	宮崎県宮崎郡清武町	半導体集積回路製造
	長野沖電気株式会社	長野県小諸市	電子機器設計・製造、製造受託
	本庄地区	埼玉県本庄市	情報・通信装置製造、製造受託
	宮城沖電気株式会社	宮城県黒川郡大衡村	半導体集積回路製造
	(株)沖データ福島地区	福島県福島市	プリンタ・FAX・周辺機器の製造

■工場での廃棄物削減の取り組み

沖電気の工場には、大別して、製品を組立てる「組立工場」と半導体を製造する「半導体工場」があります。排出する廃棄物が異なるため、各々で工夫した削減に取り組んでいます。

組立工場でも最も多い排出量の廃棄物は、購入部品の梱包材で、ICの包装容器など比較的強度の高い梱包材については、「リユースシステム」によりIC製造メーカーに返却し、再使用しています。

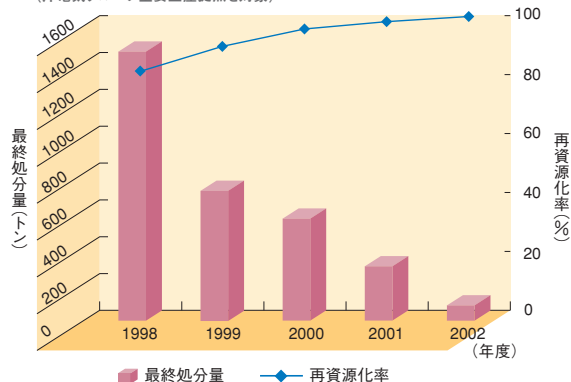
半導体工場では、廃油、汚泥、廃酸、廃アルカリの排出量が多く、これら廃棄物の発生抑制、再生利用、再資源化に取り組んでいます。

半導体工場廃棄物の再資源化例

廃棄物区分	排出物名	再資源化用途
廃油	アセトン	再生利用または燃料化
	エタノール	再生利用または燃料化
	IPA	燃料化
汚泥	現像液	燃料化
	無機汚泥	セメント原料化
	有機汚泥	肥料原料化
廃酸	硫酸	再生利用
	リン酸	肥料原料化
	エッチング液	溶融金属回収
廃アルカリ	現像液	補助燃料化

工場廃棄物の最終処分量と再資源化率

(沖電気グループ主要生産拠点を対象)



■ オフィスでのレスペーパー活動

オフィス（事務部門）では、ISO14001を軸とし事務用品のグリーン購入や、コピー用紙削減活動などにより、森林資源保護に努めています。

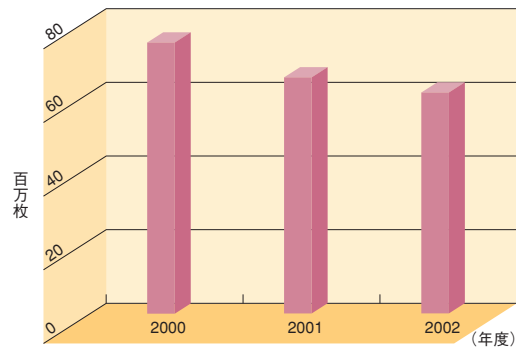
特にコピー用紙使用量の削減については、両面印刷や裏紙使用の徹底などに加え、文書の電子承認化や取引先とのEDI（電子データ取引）化などネットワークを利用した方法での取り組みを行っています。この結果、2002年度は前年度比8%（500万枚）削減しました。

また、社内で使用するコピー用紙、カタログ・パンフレット、名刺、トイレットペーパーなどの紙類は沖電気グループ全体でグリーン購入をすすめ、古紙配合率の高い再生紙を使用しています。

■ 廃棄物適正処理の取り組み

廃棄物処理の適正化を図るため、本社環境管理部門で、産業廃棄物を排出している全国の事業所、営業所、グループ企業など36拠点のマニフェスト管理状況を一斉調査し、内容確認を行いました。

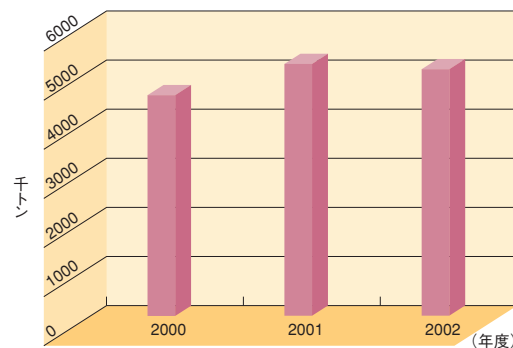
コピー用紙使用量（A4換算枚数）



2 水資源の有効利用

2002年度の用水の使用量は、5016千トンで、対前年比2.5%減でした。用水の使用量削減のため、工場内で水のリサイクルを積極的にすすめています。特に、半導体製造工程では大量の純水を使用するため、創業時から純水リサイクルシステムを稼働させ、回収率は95%以上を達成しています。

水使用量推移



3 身の回り不要品の再生

いらなくなった身の回り品をリサイクルしました。沖電気では、従業員の協力により、身の回り不要品を収集し、社会に役立てています。以下にその事例を紹介します。

■ 自転車

埼玉県蕨市にある寮・社宅の不用自転車10台をNGO「AAAアジア&アフリカ」に寄贈しました。ケニア、ウガンダ、スリランカなどの職業訓練所で活用されます。現地までの運送費は「OKI愛の100円募金」から拠出しました。

■ 絵本

日本語絵本にラオス語翻訳文を貼り付け、ラオス語絵本を作りました。

■ 古着

沖電気グループの全国の拠点で収集された古着を、NGO「わかちあいプロジェクト」を通し、タンザニア難民に寄贈しました。

■ そろばん

不用なそろばんを集め、(財)しまね国際センター経由、タイの小学校に寄贈しました。算数の授業で使われます。

■ 書き損じはがき

日本民際交流センターの「ダルニー奨学金制度」を通し、タイやラオスの貧しい子どもたちの就学を支援しました。250枚のはがきで一人1年間分の奨学金になります。

■ 日用品など

不要となった石鹸、タオル、文房具などの日用品や、お歳暮などを障害者施設等のバザーに献品しました。



集まった古着を整理